

鳥取県美術館整備基本構想の検討について

1 概 要

昨年度設置した「鳥取県立博物館現状・課題検討委員会」の検討結果（3分野のうち美術分野を博物館の外に出した方が解決できる課題が多くデメリットが少ないこと）や平成27年2月に実施した県政参画電子アンケートの結果（過半数の方が美術館整備を希望されたこと）等を総合的に勘案して、美術分野のための新たな施設を整備する方向で検討を進める方針を同年4月に決定し、美術館整備に向けた具体的な検討を進めるため、7月に、館内に「美術館整備推進担当」を設置するとともに、外部有識者で構成される「鳥取県美術館整備基本構想検討委員会（会長は元文化庁長官の林田英樹氏）」を設置した。

同検討委員会は同年7月から28年3月にかけて5回開催され、美術館を整備する場合のコンセプト、施設設備、立地条件、運営費、運営手法及び整備手法等について順次議論するとともに、県外の先進的な美術館等の視察も行った。こうした議論を進める途中途中で、経済・文化・教育等の各種団体や一般県民のところに掛けていって基本構想の内容を説明する「出前説明会」を開催するなど、県民の理解を得ながら丁寧に作業を進めた。このため、検討の進捗が予定より遅れ、当初27年度中を目指していた基本構想の策定が、翌年度にずれこむこととなった。

また、平成28年2月には、各市町村から推薦のあった候補地等について、検討委員会が設定した立地条件に照らして専門の見地から評価する「鳥取県立美術館候補地評価等専門委員」を選任し、同年3月には各候補地の現地調査を行うなど評価作業に着手した。

2 鳥取県美術館整備基本構想検討委員会

(1) 委 員（任期 平成27年7月17日～平成28年7月16日）

氏 名	役 職 等
林 田 英 樹	日本工芸会理事長、元文化庁長官、元国立科学博物館長、元国立新美術館長
半 田 昌 之	日本博物館協会専務理事、元たばこと塩の博物館学芸部長
水 沢 勉	神奈川県立近代美術館館長、元県立博物館美術品収集評価委員
福 嶋 敬 恭	彫刻家、京都市立芸術大学名誉教授
小 泉 元 宏	立教大学社会学部准教授
森 口 まどか	美術評論家、宝塚大学造形芸術学部准教授
衣 笠 幸 雄	(株) TBS サービス社長、元TBS常務取締役
松 本 一 夫	鳥取県公民館連合会理事、境港市渡公民館長
横 山 薫	鳥取県PTA協議会副会長
北 村 順 子	鳥取市立宝木小学校校長
竹 上 順 子	米子商工会議所女性会理事、(株) インタープロス代表取締役
本 城 美佐子	鳥取演劇鑑賞会事務局長
田 村 閑 美	鳥取女性中央会会長、倉吉異業種交流プラザ会長
谷 本 里 美	公募委員
来 間 直 樹	公募委員

(2) 検討状況

平成27年7月29日 第1回基本構想検討委員会
・基本構想の構成案、検討の進め方

- 9月8日 第2回基本構想検討委員会
・コンセプト、必要な機能
- 11月2日 第3回基本構想検討委員会
・コンセプト、必要な機能、施設設備と規模、立地条件
- 平成28年1月29日 第4回基本構想検討委員会
・コンセプト、施設設備と規模、立地条件
- 3月28日 第5回基本構想検討委員会
・運営費、運営手法、整備手法

3 鳥取県立美術館候補地評価等専門委員

(1) 委員

氏名	役職等
宇山 秀人	一般社団法人鳥取県バス協会専務理事
船越 克之	鳥取県ハイヤータクシー協会会長
佐分利 育代	鳥取県福祉のまちづくり推進協議会会長
川井 克一	鳥取県消費生活審議会会長代理
中島 守	公益社団法人鳥取県観光連盟会長
野田 邦弘	鳥取県文化芸術振興審議会会長
谷本 圭志	鳥取県都市計画審議会会長
前田 昭博	県政顧問（文化芸術関係）
里見 泰男	一般社団法人鳥取県建築士会副会長
牧野 光照	鳥取県財産評価審議会会長
香川 敬生	鳥取県地震防災調査研究委員会会長
前野 詩朗	鳥取県河川委員会会長
アドバイザー 林田 英樹	鳥取県美術館整備基本構想検討委員会会長

(2) 検討状況

- 平成28年2月17日 第1回候補地評価等専門委員会
・評価の視点、進め方
- 3月14日 候補地現地視察
- ～4月15日